

# 「火の用心」徹底を

## 9日から全国 予防運動 園児らパレード

(2014年11月7日夕刊11面)



アーケード内を歩きながら「火の用心」を呼び掛ける園児＝7日午前、大分市

秋の全国火災予防運動が9日から始まる。15日までの期間中、各地で啓発イベントや訓練がある。県内の火災件数は9月末現在で332件(速報値)。昨年同期の459件に比べて大幅に減っているものの、死者は15人と1人増えた。県消防保安室は「空気が乾燥し、火災が発生しやすいシーズンを迎える。暖房器具や火の取り扱いには厳重に注意を」と呼び掛けている。

県消防保安室によると、今年の火災の主な内訳は▽建物 169件(昨年同期209件)▽林野 43件(同62件)▽車両 33件(同44件)など。原因別では▽たき火 33件(同65件)▽火入れ 20件(同35件)▽こんろ 19件(同12件)▽たばこ 11件(同15件)などが上位を占める。

2012年の火災による県内の被害総額は約11億7500万円。建物火災による被害が全体の8割近くを占める。住宅用火災警報器の県内の設置率は今年6月の調査時点で81・0%と全国平均を上回る。同室は「各消防本部などを通して引き続き、設置を呼び掛けたい」と話した。

市消防局予防課は「火を使う時はその場を離れない、ストーブの近くに洗濯物を干さないなど、火災予防の基本を徹底してほしい」と話した。

としている。

運動のスタートを前に、大分市消防局などは7日、市中心部で防火パレードを開催。市内の幼稚園や保育園の園児ら約500人が参加し、アーケード内を歩きながら「火の用心」を呼び掛けた。

秋の全国火災予防運動の9～15日までの期間中、大分県内各地で啓発イベントや訓練がありました。

①今年の大分県内の火災件数は9月末までに何件でしょう。

.....  
.....  
.....  
.....

②今年の火災で、最も多かったのは何の火災でしょう。

.....  
.....  
.....  
.....

③火災を防ぐにはどういうことに気を付けるべきか、考えてみよう。

.....  
.....  
.....  
.....